

文化課関係

1 文化芸術振興事業

(1) 文化芸術事業

事業名	期間	内 容	参加・入場者等
第44回 鹿沼市民 文化祭	9.24 ～ 12.11	市民の自主的・創造的な芸術文化活動の支援と本市文化の向上を図ることを目的として、市民文化センターを主会場に開催。4部門・24事業を開催。開幕式には「藤石波矢トークショー」を開催した。	参加者 1,339人 入場者 4,382人
第51回 市民美術展	7.27 ～ 7.30	美術を志す人に向けた登竜門的な美術展で市民文化センターを会場に開催。	出品数 77点 入場者 533人
第50回 市民書初め展	1.11 ～ 1.15	市民書道愛好家の底辺拡大及び会派を越えた交流の場として、市民文化センターを会場に実施。	出品者 97人 来場者 288人
移動芸術教室	11.1	青少年に優れた公演を直接鑑賞する機会を提供し、芸術文化活動への機運を醸成するため、北押原小で栃木県巡回伝統芸能公演を開催。 内容：はなしの伝統芸能「落語」	児 童 411人 教職員等 41人 合 計 452人
巡回公演事業	6.7、 10.13	文化庁が選定した文化芸術団体が学校体育館等で公演を行う事業。南押原小で実施。(文化庁による文化芸術関係事業の調整)	児 童 50人 教職員等 34人 合 計 84人
芸術家の派遣事業	6.13 ～ 11.18	個人又は少人数の芸術家による講和や実技披露、実技指導を行う事業。市内小中学校5校で計13回実施。(文化庁による文化芸術関係事業の調整)	児 童 544人
子供 夢・アート・アカデミー事業	1.30	日本芸術院会員が講師となり講話や実技疲労、実技指導を行う事業。東中で実施。(文化庁による文化芸術関係事業の調整) 内容：日本画(講師：千住博氏)	実施校 1校
伝統文化親子教室	—	伝統文化に触れる機会の少なくなった子供たちが伝統文化等に関する活動を継続的に体験できる取組を支援する事業。嚙子2件。 (文化庁による文化芸術関係事業の調整)	採択 2件
子供たちの伝統文化の体験事業	7.31	子供たちに伝統文化等を体験できる機会を提供する事業。「嚙子体験教室」開催。(文化庁による文化芸術関係事業の調整、事業主体は(公財)かぬま文化・スポーツ振興財団)	児 童 31人 保護者 28人 合 計 59人
市民文化芸術交流の日 「meet with KANUMA」	12.17	世代を超えた市民が新しい文化芸術をともに創るため、交流を深める日「meet with KANUMA」第4回記念イベントとして「あのアレ。かぬまアートツアー」(市内アートツアー、作品制作ワークショップ)を実施。	参加者 19人

(2) 文化団体育成事業

事業名	内 容	金 額
団体運営補助事業	本市の中核的な文化団体である「鹿沼市文化協会」への運営補助を行うとともに、市内の文化活動団体が主催する文化事業への後援等の支援を行った。	550,000円
市民音楽活動支援事業	青少年の音楽活動の底辺拡大を図るため、「鹿沼ジュニアフィルハーモニーオーケストラ」への運営補助及びコンサート活動への後援を行った。	950,000円
	音楽を通して青少年の健全育成と豊かな情操を培うため、「さつきドリーマーズバトントワーリング」と「さつきドリーマーズマーチングバンド」の運営補助を行った。	1,900,000円

2 文化芸術施設管理・運営

(1) 市民文化センター

指定管理者に委託し、管理・運営を行った。

ア 委託先 公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団

イ 委託内容

- (ア) 施設等の維持管理に関すること。
- (イ) 施設の利用に関すること。
- (ウ) 使用料の収納に関すること。
- (エ) 文化振興事業の推進に関すること。

ウ 委託料

公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団 191,663,494円

※公益財団法人かぬま文化・スポーツ振興財団の事業実績は、本書末尾に記載のとおり（体育文化施設利用状況、体育文化事業実施状況）。

エ 利用人数

単位／人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入館者数	2,624	3,437	11,464	9,167	3,796	5,920	
区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	9,490	8,114	7,034	5,585	6,030	6,042	78,703

オ 施設改修工事

長寿命化を図るため、計画的修繕を実施した。

施工場所	内 容
誘導灯修繕	劣化不良の20台を更新。(別途15台指定管理者修理)

(2) 千葉県三記念館

利用人数 668人

3 文化財保護事業

(1) 文化財保護審議会

ア 会議

名 称	月 日	会 場	内 容	出席者
文化財 保護審議 会	5.24	市民文化セン ター中会議室	令和4年度文化財係の事業、有形文化財 の指定に対する諮問について	8人
	3.23	市民文化セン ター中会議室	文化財保存活用地域計画の策定状況、部 会活動について	10人

イ 調査・研修等

名 称	内 容	出席者
第1部会	高久靄厓絵画、大原天満宮・板荷日枝神社・十二社神社本殿、 興源寺・城宝寺・千手院仏像、小葉家住宅調査	延べ13人
第2部会	加園馬頭観音堂宝篋印塔調査	延べ4人
第3部会	麻栄業図、双体道祖神調査	延べ6人
第4部会	ザゼンソウ群落、成就院しだれあかしで、興源寺タラヨウ、植 物標本調査	延べ36人

(2) 文化財の指定と保護

ア 指定

名 称	員数	種 別	所在地	所有者	指定日
姫宮神社本殿 附棟札	1棟・4札	有形文化財 (建造物)	草久717	姫宮神社	4.21

イ 保護事業

事業名	内 容	補助金額
指定文化財 保護事業	今宮神社祭の屋台行事に使用する屋台の收藏施設を所 有する3自治会に、その地代を補助した。	226,000円
	今宮神社祭の屋台行事に使用する蓬萊町屋台の收藏施 設修繕に対し補助金を交付した。	153,000円
	発光路の強飯式の後継者育成事業に対し、補助金を交付 した。	200,000円
	奈佐原文楽の保存伝承事業に対し、補助金を交付した。	200,000円
	医王寺消火設備更新事業に対し、補助金を交付した。	885,000円
	医王寺金堂茅葺屋根修理事業に対し、補助金を交付し た。	3,125,000円

(3) 埋蔵文化財

内 容	月 日	説 明
発掘調査	通年	新庁舎整備に伴う鹿沼城跡（今宮町）、市道拡幅に伴う植竹東 遺跡（上石川）の発掘調査を実施した。
市内遺跡 試掘確認調査	通年	本調査の必要性の有無等を把握するため、宅地造成に伴う段ノ 浦遺跡（村井町）、土砂採取に伴う前林遺跡（下石川）、松の木 遺跡（下石川）の3件の確認調査を実施した。
出土遺物整理	通年	明神前遺跡（上殿町）、鹿沼城跡（今宮町）の発掘調査により 出土した遺物を整理した。

(4) 郷土資料調査・保存・活用

内 容	月 日	説 明
郷土資料の収集と調査	通 年	15家・団体の古文書等の収集・調査、歴史的公文書の選別・収集を行った。
郷土資料の整理と保存・活用	通 年	資料の公開・活用を図るため、古文書等428点のデジタル化を実施した。
	通 年	栗野コミュニティセンター内の自然史資料室において、昆虫標本・植物標本資料の整理・分類作業を実施した。
	通 年	郷土愛学習推進のため、小中学校等での出前講座を5校で実施し、授業支援を推進した。
刊行物の販売	通 年	文化課・図書館等で、『鹿沼市史』関連書籍105冊(164,500円)、文化財関連書籍24冊(32,400円)を販売した。

4 鹿沼まると博物館と展示施設管理

(1) 施設管理・運営

施 設 名	内 容	入館者数
文化活動交流館 郷土資料展示室	彫刻屋台、名誉市民・郷土の人々、歴史年表、遺跡と出土遺物、生活に関する民俗資料等を展示。郷土資料展示室管理運営協議会に案内と施設管理を委託し、地域文化の保護および活用に努めた。	5,960人
仲町屋台公園 屋台展示収蔵庫	彫刻屋台を展示。仲町屋台維持管理協議会に委託し、展示収蔵庫の維持管理を行った。	—
栗野歴史民俗資料館	横根高原の自然と特産品である野州麻をテーマに展示を実施し、旧栗野町域の特色と歴史を紹介した。	3,212人
木のふるさと 伝統工芸館	彫刻屋台、伝統工芸品を展示。石橋町自治会に管理を委託し、展示案内、組子づくり体験を実施し、木のまちかぬまのイメージアップを図った。	6,103人

(2) 鹿沼まるごと博物館

鹿沼まるごと博物館は、市全域を博物館として捉え、従来の博物館資料はもちろん、美しい自然や文化財など建物に収まらない地域資源にも目を向ける総合的な博物館で、平成 27 年度に策定した「鹿沼まるごと博物館基本計画」に基づき、事業を推進した。各種事業

内 容	月 日	説 明
第 27 回自然はともだち展「SDGs とかぬまの生きものたち」	7.24～ 8.14	文化活動交流館で、昆虫標本を活用した展示を開催した。入場者数 413 人。関連イベントとして「昆虫標本づくり」「星空観察会」「親子で学ぼう SDGs」を開催し、合計 43 人が参加した。
第 8 回企画展「学校誕生」	12.3～ 12.18	文化活動交流館ギャラリーで、学制施行 150 年を記念した展示を開催した。入場者数 521 人。関連イベントとして「北小見学会」を開催し 36 名が参加した。
市民学芸員養成講座	通 年	地域において主体的に博物館活動を行う人材を養成するため市民学芸員の養成講座を実施した。令和 3 年度に新型コロナウイルスの影響で延期されていた講座を実施し 15 名を市民学芸員に認定した。
古文書調査会	通 年	市民学芸員と連携した調査活動として下南摩町日吉神社神官近世文書の整理を実施した。参加延べ人数 65 人。